取扱説明書

このたびはDXアンテナ製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。

DXアンテナの製品を正しく理解し、ご使用いただくために、
ご使用の前に必ずこの取扱説明書をよくお読みください。
お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保存してください。

DX ANTENNA
DX ANTENNA CO., LTD.

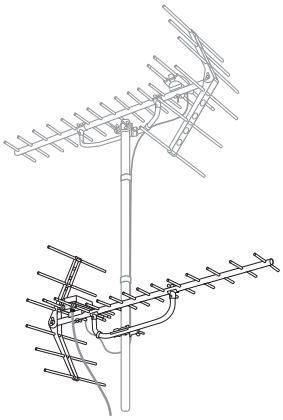
DIGITAL

470～542MHz（ch.13～24）対応

UHFアンテナ（京阪神地区用）

［水平偏波用、UHF混合回路内蔵、出力75Ω仕様］

UA14PM1



製品の特長

- ch.13～24（大阪生駒局）とch.22～62（神戸/京都局など）混合回路を内蔵し、 ch.13～24側にはアッテネータースイッチ（0、 −10dB切換）、ch.22～62側には通電スイッチ付きで、さまざまな電波状況に対応できます。
- 土壌汚染・大気汚染など環境に影響を与える物質や人体に悪影響を及ぼす物質を使用しない事など厳しい自社基準をクリアした製品です。

安全上のご注意

△	△記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。 図の中に具体的な注意内容（左図の場合は警告または注意）が描かれています。
⃠	⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。 図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は接触禁止）が描かれています。
●	●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。 図の中に具体的な指示内容（左図の場合は注意して行なってください）が描かれています。

⚠ 警告

この内容を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- アンテナ工事およびテレビ受信関連工事には技術と経験が必要ですので、お買い上げの販売店もしくは工事店にご相談ください。

- この製品に通電する場合は、通電スイッチをON側にし、必ず通電容量（DC15V 0.8A）以下で使用してください。火災・感電の原因となります。

- この製品に接続する同軸ケーブルには、テレビ電波以外に電流が流れることがあります。同軸ケーブルなどを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったりしないでください。また、重いものをのせたり、加熱したり、（熱器具に近づけたり）引っぱったりしないでください。火災・感電の原因となります。同軸ケーブルなどが傷んだときは（心線の露出、断線など）お買い上げの販売店もしくは工事店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電などの原因となります。

- 次のような場所には設置しないでください。
  - ・送配電線、ネオンサイン、電車の架線や電話線などの近く
    アンテナが倒れた場合、感電、断線の原因となります。
  - ・人や車両の通行の妨げになる場所
    人がぶつかったり、車両が接触してけがや破損の原因となります。
  - ・地盤の弱い場所、強度の弱い場所、不安定な場所、ぐらついたり振動する場所や傾いた場所
    落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。
  - ・煙突の付近や高温になる場所
    火災の原因となります。

⚠ 警告

この内容を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- 設置やお手入れ、点検をする際には、次のことにご注意ください。
  - ・高所などでは足場と安全を確保し、作業時は手袋をするなど安全対策をして行なってください。
    落ちたり、すべったりしてけがの原因となります。
  - ・組み立てや取り付けのネジやボルトは、締め付け力（トルク）に指定がある場合はその力（トルク）で締め付け、堅固に固定してください。
    落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。
  - ・風の強い日、雨、雪、霧などの天候が悪い日や暗い所では、危険ですから設置工事やお手入れ、点検をしないでください。
    落ちたり、倒れたりしてけがの原因となります。
  - ・アンテナの部品や工具類を高い所から落とさないでください。
    けがの原因となります。アンテナ部品や工具類をひもで結ぶなど落下防止に留意して作業してください。
  - ・この製品に接続する同軸ケーブルには、テレビ電波以外にも電流が流れることがあります。同軸ケーブルなどを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったりしないでください。
    また、重いものをのせたり、加熱したり（熱器具に近づけたり）引っぱったりしないでください。
    火災・感電の原因となります。
  - ・混合ターミナル、給電部の内部部品は調整済みです。混合ターミナル内の切換スイッチとケーブル取付用ネジ類以外の部品や給電部ケース内部には触れないでください。
    故障や感電、けがの原因となります。内部の点検･調整･修理は販売店もしくは工事店にご依頼ください。

- 万一、煙りが出ている、変な臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐにこの製品に接続している電気製品の電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙りがでなくなるのを確認して販売店もしくは工事店に修理をご依頼ください。

- 雷が鳴り出したら、アンテナやケーブルには触れないでください。
  感電の原因となります。

⚠ 注意

この内容を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

- 台風の後や積雪の後などは、アンテナや取付装置に緩みや異常が生じることがあります。そのままにすると破損したりして、けがや故障の原因となることがあります。点検はお買い上げの販売店または工事店にご依頼ください。

- アンテナや取付装置などに洗濯物や他の物品を掛けたりしないでください。
  倒れたり、破損したりして、けがの原因となることがあります。

- マンションやアパートなどによっては、取り付けに規制のあるところがあります。管理組合、管理事務所、自治会などに必ずご確認のうえ、取り付けてください。

お取扱いの前に

- 組み立て、取付作業は、この取扱説明書をよくお読みのうえ行なってください。
- 強風の時や、雨や雪など天候の悪いときは危険ですから、取付作業は行わないでください。
- アンテナを落としたり、ぶつけたり、パイプを曲げるなど無理な力を加えることのないよう注意してください。
- 屋根などに取り付ける場合、瓦やスレートなど設置場所の強度に注意し、また長期にわたり台風などの強風に耐えるように強固に固定し、落下、転倒しないよう安全性と信頼性を十分に考慮してください。
- アンテナ本体やマスト、ステー（支線）などが、電灯線や電話線に近づかないよう、十分離して取り付けてください。
- 別売のUHFオールチャンネルアンテナ側にブースターを取り付け通電する際は、必ずこの製品の入力側通電スイッチをON側にし、通電形機器とケーブルが正しく接続されていることを確認してから電源供給してください。

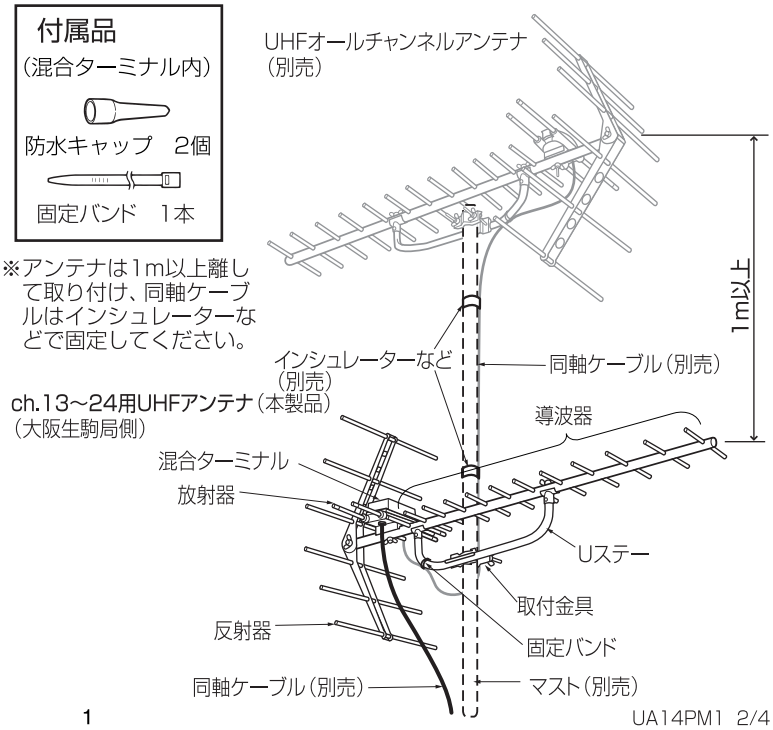
組立完成図と各部の名称

付属品
（混合ターミナル内）

防水キャップ　2個

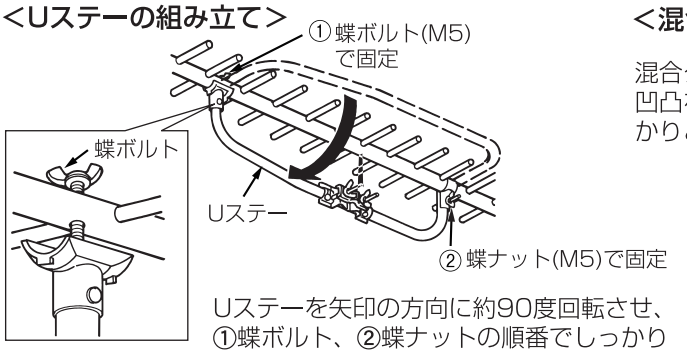
固定バンド　1本

※アンテナは1m以上離して取り付け、同軸ケーブルはインシュレーターなどで固定してください。



アンテナの組立方法

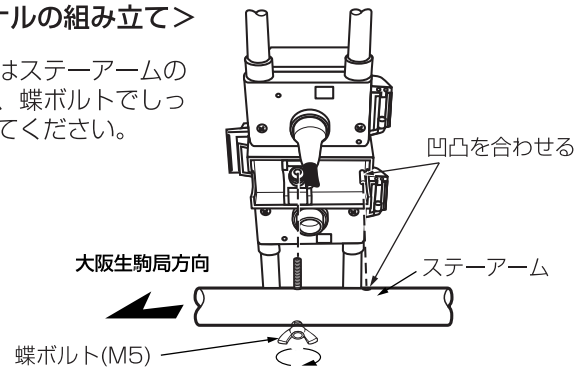
＜Uステーの組み立て＞



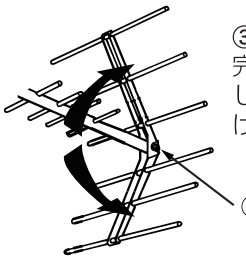
Uステーを矢印の方向に約90度回転させ、①蝶ボルト、②蝶ナットの順番でしっかりと固定してください。

＜混合ターミナルの組み立て＞

混合ターミナルはステーアームの凹凸を合わせて、蝶ボルトでしっかりと締め付けてください。



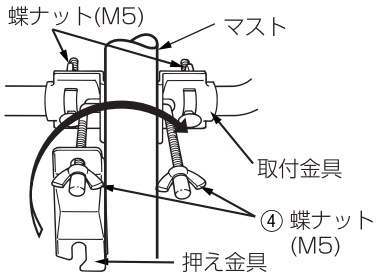
＜反射器の組み立て＞



③蝶ナットを一度ゆるめて反射器が完全にロックされるまで開き、固定した後に③蝶ナットを確実に締め付けてください。

＜マストへの取り付け＞

押え金具と、④蝶ナットでマストへ固定してください。

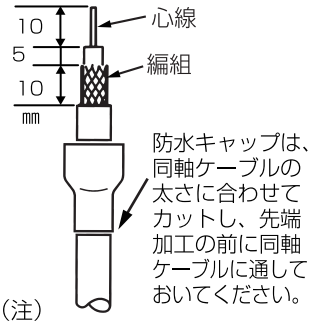


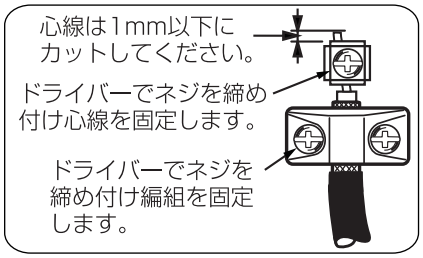
ボルト・ナット締付トルク
M5：2～3N・m
※1N・m≒10kgf・cm

混合ターミナルと同軸ケーブルの接続方法

混合ターミナルの出力端子（左側）に、テレビ側に続く同軸ケーブルを、入力端子（右側）にUHFアンテナからの同軸ケーブル接続してください。
接続後は、防水キャップを奥まで確実に取り付けてください。

＜5C相当同軸ケーブル加工寸法＞

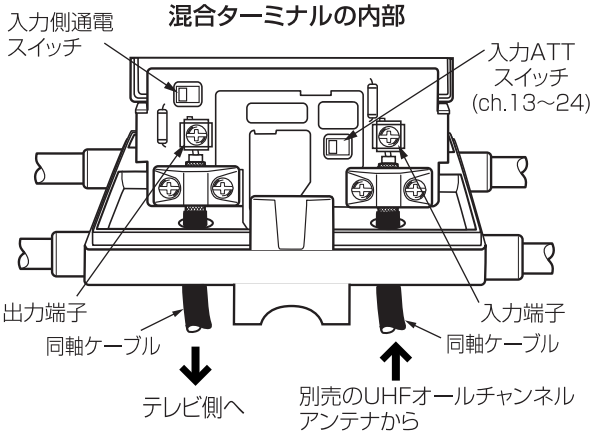




ネジ締付トルク
（心線）0.40～0.60N・m
（編組）0.25～0.30N・m

（注）
同軸ケーブルは心線と編組が絶対に接触しないよう注意して加工してください。

混合ターミナルの内部

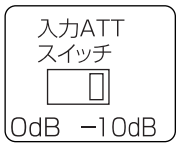


混合ターミナルのスイッチ設定と受信レベルの調整

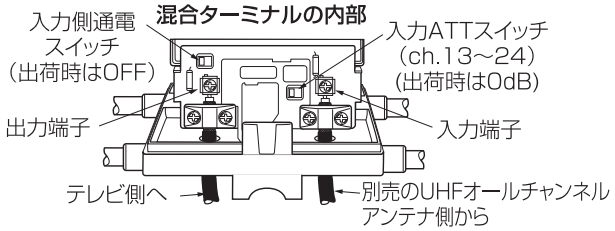
混合ターミナル内のスイッチは、ケーブル接続が完了し、電源供給をする前に設定してください。

＜ch.13～24入力ATTスイッチ＞

ch.13～24用UHFアンテナ（大阪生駒局側）の受信レベルが高いときは、入力ATTスイッチを－10dB側にしてください。



混合ターミナルの内部



＜入力側通電スイッチの設定とブースター接続＞

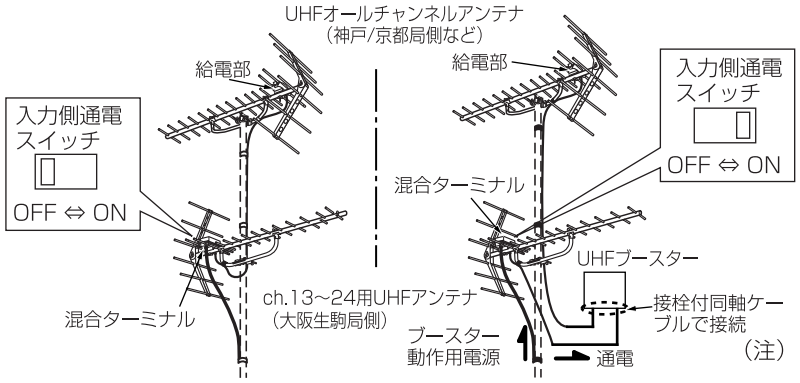
別売のUHFオールチャンネルアンテナ(神戸/京都局側など)にUHFブースターを接続して給電する場合の手順は、次の通りです。

①混合ターミナルの入力端子に別売のUHFブースター、UHFオールチャンネルアンテナを同軸ケーブルで接続します。ブースターとの接続はご使用になるブースターの取扱説明書をご覧ください。（注）

②このUHFアンテナ(ch.13～24用大阪生駒局側)混合ターミナル内の入力側通電スイッチをON(右側)にします。
それ以外は、必ずOFF側にしてください。

※誤って給電するとショートしてテレビが映らなくなったり、接続機器の故障の原因となります。

通電スイッチOFF時の接続例　　通電スイッチONの接続例



(注)ブースターの利得が高すぎると、大阪生駒局側の信号品質(C/N)が悪化することがあります。
その場合は、ブースターの利得調整ボリュームを操作して最適な受信状態にしてください。

使用上のご注意

- 地上デジタル放送を受信するためには、一定以上の受信レベルが必要です。電波の弱い場所や周囲に電波を遮ったり、反射するような障害物のある場所など受信レベルが低い場所では、地上デジタル放送がまったく受信できないかまたは時々ブロックノイズがでるなど不安定な受信状態になることがあります。（このアンテナは地上デジタル放送に加え、従来のUHFアナログ放送も受信可能です。ただし、アナログ放送の受信レベルが低い場所では受信できない場合があります。）
- この製品には混合器（ch.22～62）が内蔵されていますので、**必ず別売のUHFオールチャンネルアンテナを接続してご使用ください。混合ターミナルの入力端子に何も接続しないと、このアンテナの性能が十分に発揮できない場合があります。**
- アンテナは電波到来方向の障害物をさけるように、できるだけ高い位置に設置してください。（一般的にアンテナの設置位置が高くなるほど受信レベルが良くなります。）
- アンテナを設置するとき、ネジ類はスパナなど工具を用いて、**パイプが変形しない程度にしっかりと**締め付けてください。
- アンテナはいつも正しい方向に向いているようにご注意ください。
- アンテナマストは、ステーワイヤを用いて3～4方向からしっかり張ってください。ステーワイヤの固定にはなるべく「支線止め」などをお使いください。
- このアンテナに多量の雪が積もった場合、雪の重みでアンテナが破損する恐れがあります。雪はこまめに払い落としてください。その際、安全には十分注意してください。
- この製品に通電する場合は、混合ターミナルの入力側通電スイッチがON側であることと、全てのケーブルが正確に接続されていることを確認した後に行なってください。

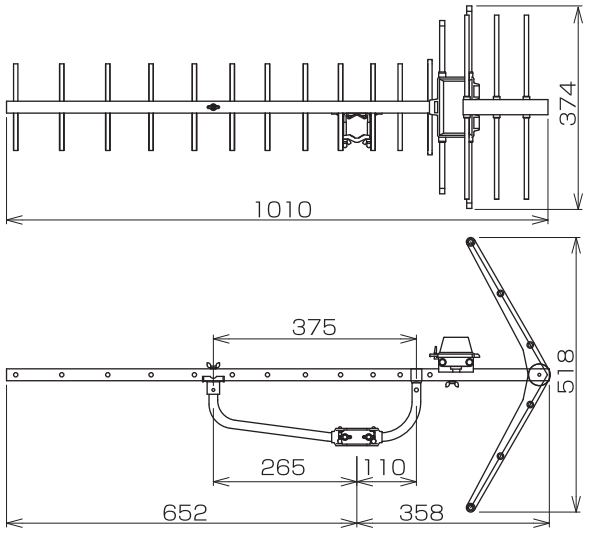
規格特性

品名	UHFアンテナ（京阪神地区用）
品番	UA14PM1
使用チャンネル(ch)	13～24
アンテナ素子数	14
受信周波数(MHz)	470～542
偏波面	水平
入出力インピーダンス(Ω)	75
動作利得(dB)	1～4（注1）
VSWR	3以下（注1）
前後比(dB)	19～24（注2）
半値幅(度)	50～60（注2）
混合周波数(MHz)	524～770
混合損失(dB)	6以下
入力アッテネーター(dB)	0、-10（スイッチ切換式）
通電容量(V/A)	DC15/0.8
耐風速(m/s)	40（注3）
適合マスト径(mm)	φ16～39
寸法(W)×(L)×(H)(mm)	374×1010×518
質量(kg)	0.8

（注1）内蔵混合器の混合損失を含んだ値です。
（注2）アンテナ単体の性能です。
（注3）耐風速は破壊風速です。

規格は改良により、変更させていただくことがありますのであらかじめご了承ください。

外形寸法図



（単位：mm）

※この製品を処分するときは、地方自治体のルールに従って処理してください。

カスタマーセンター フリーコール **0120-941-542**

〔受付時間　9：30～12：00/13：00～17：00　土曜・日曜・祝日および夏季・年末年始休暇は除く〕

携帯電話・PHS・一部のIP電話で上記番号がご利用になれない場合 **03-4530-8079**

ホームページアドレス　http://www.dxantenna.co.jp/

DXアンテナ株式会社　本社/〒652-0807 神戸市兵庫区浜崎通2番15号

（2011年2月）